

2009年 6月12日  
No 0920号  
働くルールの確立で  
人間性の回復を

# 明治乳業争議団 ニュース

発行 明治乳業争議団  
連絡先 〒272-0015  
千葉県市川市鬼高2-6-2  
☎・Fax 047-332-5698  
E-mail minyu88sgd@wing.com.ne.jp  
HP http://meinyu-suogi.web.infoseek.co.jp

## 私と明乳争議

明乳争議支援を  
ライフワークに  
北区労連事務局次長  
野中 晴



明乳争議の争議山を釣りの竿が、釣りの竿を改造して釣った、壊した、無くしたと、つこう4本もただで作った貰いました。一人争議だつた私は、東京争議団や明乳争議団のご支援で勝利し、その後、北区労連の専従として働くことになりました。一昨年からは北区労連も明乳争議支援関係会議の構成団体となり、私は公私にわたって支援できるようになりました。北区労連の歴史と伝統と名誉にかけて、明乳の「人権侵害を許すな」と、勝利するまで共に闘い続けます。

## 夏季カンパのお願い

日頃よりのご支援に感謝を申し上げます。09春闘など雇用・生活破壊の突破を目指す前進の中でも、厳しい経済状況が生活を圧迫する事態が続いています。さて、全国事件の都労委を軸に闘っている明乳争議ですが、全国からの上京など厳しい財政状況にあり、上京規制や諸経費節約など努力を重ねながらも、皆様のご支援に依拠せざるを得ない事態にあります。誠に勝手ですが同封の振込用紙、又は下記にてのご協力を重ねてお願いする次第です。

- ・加入者名=「食の安全と職場を考える実行委員会」
- ・口座記号番号=00170-7-555867



(故)二口直勝さんの墓参りを兼ね  
19日〜20日  
争議団全国交流会  
支援者を含めて13人が

## 明治乳業争議と県内(千葉)争議支援

### 市川救援美術展

25年にも及ぶ明治乳業争議をはじめ、不当解雇、賃金差別、人権侵害、組合つぶしなどで闘う、県内争議を支援する救援美術展を行います。

みなさんのご来場を  
心からお待ちしております。

とき 10月29日(木)~11月1日(日)  
10:00~20:00  
(初日はPM3:00~/最終日はPM6:00まで)  
ところ 市川市文化会館展示室  
主催 市川救援美術展実行委員会  
連絡先 市川市鬼高2-6-2  
明乳争議団内  
☎・Fax 047-332-5698

## 本件は典型的な不当労働行為・差別事件

昭和40年頃、腰痛症や胃腸障害の多発など、劣悪な労働条件と低賃金のもとで、全国各地の工場に働く若い申立人らは、会社がさらに強行する大幅な人員削減や「三交替制」導入などに反対し、健康と生活を守る闘いに立ち上がったのです。しかし、会社は高揚する組合活動に危機感を強め、労組乗っ取りを狙う「インフォーマル組織」を全国主要工場に一気に結成し、労働者を赤組・白組・雑草の枠組みに分類するなど、差別と脅しを武器に組合支部の乗っ取りを全国各地で強行したのです。そして、

## 都労委「全国事件」で一矢報いる闘いに全力!

最高裁は今年2月、市川工場事件に「不受理」の不当決定をだしました。しかし、東京高裁判決は、申立人らの集団性や集団間の「有意な格差」を認定し、不当労働行為意思にも言及するなど、この種事件の判断要件に照らすならば、救済措置への審理放棄は絶対に許されない内容なのです。争議団は、敗訴となった悔しさと怒りを力に、「全国事件で必ず一矢報いる!」の決意で都労委「全国事件」を闘っています。

- ### 全国に作られたインフォーマル組織
- 戸田橋工場=戸田橋民主化同志会
  - 鳥山(東京)工場=明鳥一心会
  - 市川工場=明朋会
  - 大阪工場=志宝会
  - 京都工場=都会
  - 西宮工場=西宮民主化同志会
  - 愛知工場=一水会
  - 福岡工場=ミルクコーナ-

その後も、どちらの集団に身を置



6月1日審問終了後の傍聴席

## 市川事件の敗訴を盾に不当労働行為の「やり得」を狙う会社

くかを踏み絵に、人事考課や職分昇格基準を差別的に運用し、申立人らの昇格を遅らせたのです。申立人ら集団は、「移行格付け試験」を受験して不合格にされた者、合格した者、不受験の者など様々で、結局、「会社の意に沿わない」というだけで、中位者との年間比較で100万円以上の差別を受

いま、都労委では申立人ら総論立証に続き、全国9事業所の個別立証に入っています。去る6月1日に行われた戸田橋支部(矢口証人)、市川支部(福島証人)への会社反対尋問の特徴は、申立人らが立証した「集団としての旺盛な組合活動」や、「不当労働行為の圧倒的な事実」などには一切触れず、もっぱら市川工場事件に対する高裁までの不当な判断の枠組みに基づく質問などで公益委員の心証をとり、全国事件も同様なものだから「棄却・却下すべき」と言う、従来からの主張を前提とした反対尋問を行っています。争議団は、今後予定される7支部の証人らを中心に、会社が行なった差別や人格否定など全国事件の特徴と、自らが体験した差別攻撃の事実を怒りと自信を持って圧倒的に立証し、都労委が迷うことなく救済命令が書けるよう頑張る決意です。

## 団員の横顔

稲毛浅間神社  
お神楽を伝えて25年  
平木 洋一さん



昭和37年、市川工場に入社。「見る聞くでは大違い」とはこのことか。募集案内と現実の職場環境の落差に愕然とした。以来、定年まで少しでも働き甲斐のある職場をと頑張ってきた。「赤・白」という分類された労務管理の中、「妻の病気療養中に受けた転向工作は決して忘れることは出来ない。」「どんな不当判決があっても会社の不当労働行為は誰にも消すことのない真実だ。」と静かに彼は言う。決して雄弁ではないが、言葉はいつも優しい。そんな彼が入社以来一貫して揺らぐことなく、「みんなの為」を通して、厳しい会社の攻撃に屈することはなかった。地域の中にあっても25年前から稲毛浅間神社の神楽を継承し、いま子供たちへその伝統芸能を教えている。

どんなことでも、彼の粘り強さは人並み以上だ。「俺のしつこさは明乳の労務管理が鍛えてくれたもの」と、明るく笑う。

そして、誰もが信じられないくらい強く固い意志の持ち主でもある

参加し氷見に一泊。宿前の後、近くにある菩提寺へ花海で釣り糸を入れると「キ」と線香を手向け「冥福をお祈りしつ、都労委闘争と会社でもらう。翌日金沢兼六園 包圍運動で必ず勝利解決報告で「直さん」の奥さんと待りが出来るよう決意を新たにしました。兼六園を見学してきました。

# 親会社「明治HD」は明治乳業争議 全面解決への当事者責任を果たせ!

## 明治HD社前で3日間の「宣伝・座り込み」実施



明治HD前

明治乳業争議解決への当事者責任 誕生した親会社「明治ホールディングス」は、明治製菓との経営統合によって「グス」にも移譲しました。争議団と支援共闘会議は、明治HDに対する抗議・要請行動を強めることを確認する5月25〜27日には、「5・28全労連・東京地評争議支援総行動」に向け、東京駅八重洲口早朝宣伝も含め社前「座り込み」行動を意気たく実施。同ビル内の明治製菓社員や社前通行人に、明治乳業の異常な企業体質の告発と、長期争議全面解決を求めるアピール行動を大きく成功させました。

## 明治HDに持ち込まれた明治乳業の異常体質を厳しく告発

明治乳業が新会社に持ち込んだのは、第一に、半世紀近くも労働争議でも労働争議もなく、マスコミ報道が絶えない体質と、第二に、不祥事・不正行為の続発や、それを隠ぺいす為もない等、両社の経営姿勢の違い

## 警備員を盾に面会拒否

## 陰で警察導入などの異常・過剰な反応

明治HDは、3日間とも警備員を盾に要請書の受け取りを拒否。さらに、3日目には「喧嘩騒動」のデマ通報で警察官6名も押し掛けさせ、要請行動に介入させるなど、極めて異常・不当な挑発行動にでました。しかし、厳しく抗議し早々に警察官を退去させ、要請行動を継続し最後には、警備員ルートで追及した「争議解決には当事者間の話し合いが必要ではないのか」

に対して、「検討する」との意向を伝えてくる等、「座り込み」の状況を判断しながら、社内でも密かに対策



## 「5・28総行動」では明治乳業の異常体質むき出しの対応



翌28日の総行動での明治HD社前には、雨模様の中51団体277名が集結し、早期解決を強く迫りましたが、会社は一切を拒否する明治乳業型の対応に終始。これは、「座り込み」3日間の状況を反省する中で、明治乳業の異常な体質が表に出たものと見られます。この企業体質を巡る両社の違い、

## 「エ! 本当なの。考えなくちゃ・・・」など大きな関心と呼ぶ

明治HD社前「座り込み」には、明治乳業が隠している不祥事・不正行為の内容を知らせる「立て看板」が登場。多くの通行人が足を止めて見入り、「ひどい会社ね・・・信じられない!」など等の声と、「ガンバって!」の励ましが寄せられました。



小林繁さんとプリマベラの皆さん



JR東京駅八重洲南口側

感じるのです。今回の社前行動は、新会社「明治HD」経営陣に対し、異常体質を断ち切り、その象徴となっている労働争議の全面解決を迫るものでした。

は明らかです。しかし、明治HD経営陣には副社長に就任した浅野茂太郎社長を筆頭に、その半数を明治乳業経営陣が占める中で、異常体質が持ち込まれ明治製菓の体質をも含め、明治乳業カラーで汚染される危惧を

沢山のご協力・支援カンパに心から感謝を申し上げます。

## カンパを入れた袋に手紙を添え「ガンバって」と通行人が激励

座り込み2日目。ビラを受け取った通行人が、封筒を渡し「いつも見えています。ガンバってください」といい、名前も告げずに立ち去りました。封筒には「長年の闘いに頑張っている姿に心うたれます。ひどい会社ですね、でもいつか風穴をあける時が必ずくると思います。奮闘を祈ります」という趣旨のメモ書きがあり、中には多額の支援カンパが入っていました。多くの人々に励まされ、支えられて闘っていることを改めて感じました。ありがとうございました。

